

メモ

● 緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話
市区町村		水道	
消防署		病院	
警察署			
ガス会社			
電気会社			

● 家族の連絡先

氏名	電話	住所	メモ

● 親戚・知人の連絡先

氏名	電話	住所	メモ

● 家族の救急用データ

氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病気

● 近くの避難施設

避難施設名	住所	メモ(電話など)

お問い合わせ先

福岡県総務部消防防災課国民保護係(福岡市博多区東公園7-7)
TEL:092-643-3123 FAX:092-643-3117 E-mail:shobo@pref.fukuoka.lg.jp

「福岡県の国民保護」ホームページ
<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/kokuminhogo/toppage.htm>



平成20年9月改訂

国民保護の手引き

「もしも」に備えて



[特殊標章]
国民保護に携わる者を識別するため、
ジュネーブ諸条約等で定められている標章



国民保護の手引き 目次

1. 「国民保護」ってなに？ 01
 - 1 国民保護とは？
 - 2 国民保護の三つの柱
2. 警報の発令、避難の指示について 04
 - 1 警報の発令
 - 2 避難の指示
 - 3 住民の避難誘導
 - 4 避難方法の基本的考え方
3. 突発的な事態が発生した時 09
 - 1 火災が発生した場合
 - 2 ガレキに閉じ込められた場合
 - 3 けが人などが出た場合
4. 核物質、生物剤、化学剤による攻撃について 12
 - 1 それぞれの特徴
 - 2 共通する留意点
 - 3 それぞれの留意点
5. 救援及び被害の最小化について 16
 - 1 救援
 - 2 被害の最小化
6. 武力攻撃事態、緊急対処事態ってなに？ 18
 - 1 武力攻撃事態の特徴
 - 2 緊急対処事態(大規模テロ)の特徴
7. 日頃からの備えについて 20
 - 1 福岡県国民保護計画
 - 2 日頃からの備え

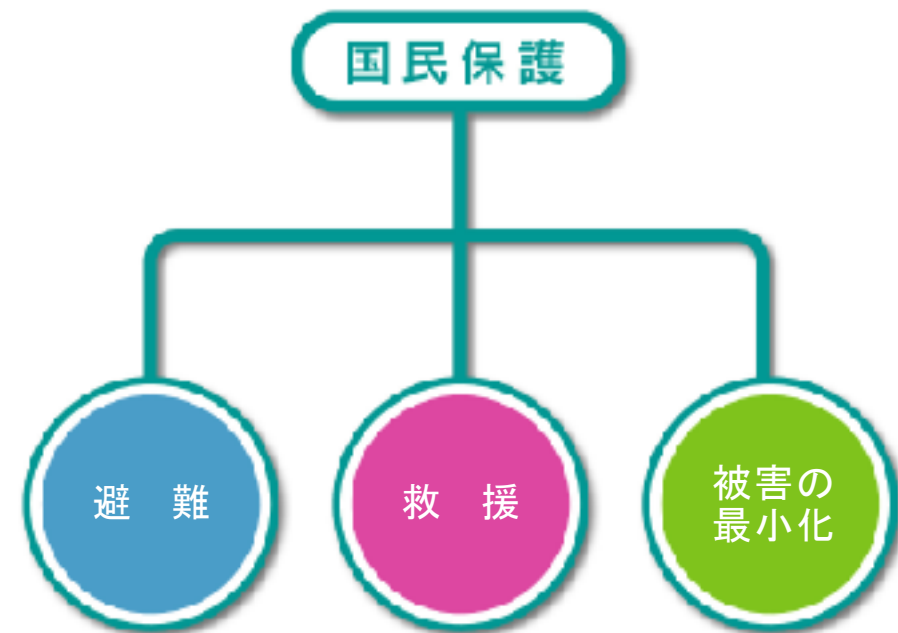


1. 「国民保護」ってなに？

1 国民保護とは？

「国民保護」とは、我が国に対する武力攻撃^{*}や大規模テロ^{*}などが行われた際に、国民の生命、身体及び財産を保護し、武力攻撃等が国民生活及び国民経済に及ぼす影響が最小となるようにするための措置を指します。

そして、この措置の具体的内容及び国、地方自治体などの責務について規定した法律が「国民保護法」です。



国民保護法においては、国は、武力攻撃やテロなどから国民の生命、身体又は財産を保護するため緊急の必要があるときは、警報を発令して、みなさんに危険な状態になったこととお知らせすることとなっています。

そして、国や県、市町村などの関係機関が連携して、国民の保護のために情報の提供や避難の誘導、避難施設の開設、救援物資の配布、救助活動、医療活動などの措置に迅速かつ全力を挙げて対応することとしています。

^{*}武力攻撃や大規模テロ…18～19ページを参照ください。

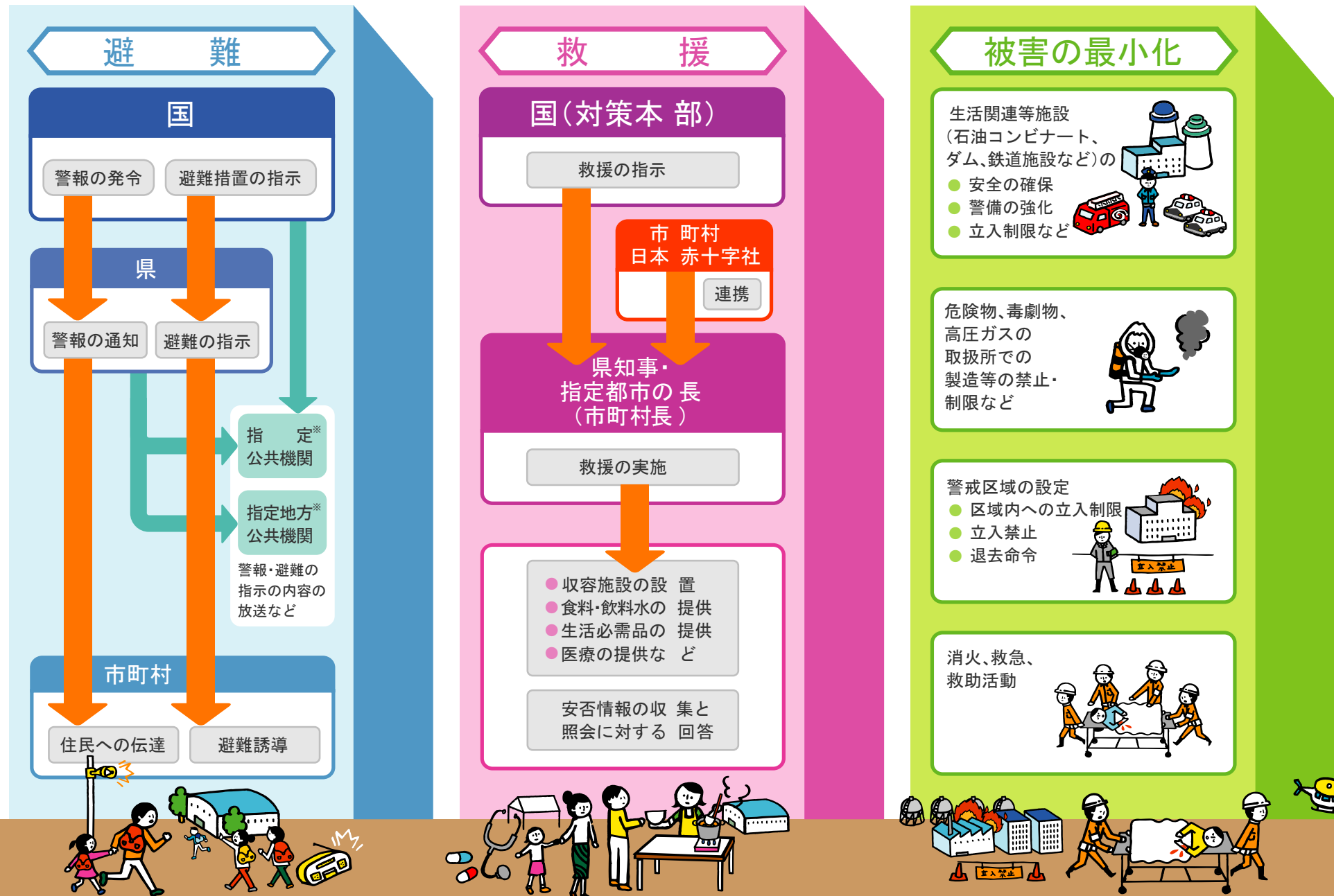
2 国民保護の三つの柱

我が国に対する武力攻撃や大規模テロなどから、国民の生命、身体、財産を保護するために、国・県・市町村が果たす役割について示しています。

「避難」「救援」「被害の最小化」が、国民保護における三つの柱とされています。

*指定公共機関………独立行政法人、日本銀行、日本赤十字社、日本放送協会その他の公共的機関や電気、ガス、輸送、通信その他の公益的事業を営む法人で、国が指定したもの。

*指定地方公共機関…県の区域においてガス、輸送、医療、放送その他の公益的事業を営む法人や地方道路公社などで、県知事が指定したもの。



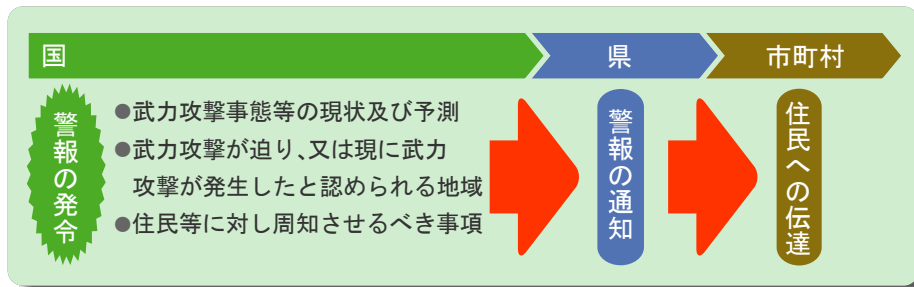
2. 警報の発令、避難の指示について

1 警報の発令

みなさんの安全を守るため、武力攻撃や大規模テロなどが迫り又は発生した地域には、市町村から原則として防災行政無線のサイレンなどを使用してみなさんに注意を呼びかけることとしています。

そして、テレビ、ラジオなどの放送や広報車などにより、どのようなことがどこで発生したか、あるいは発生するおそれがあるのか、みなさんにどのような行動をとってほしいのかといった警報の内容をお伝えします。

また、住民のみなさんの避難が必要な場合には、同様の方法で避難を呼びかけます。



住民のみなさんには、以下の手段で警報の内容をお伝えします。



※サイレン音については、国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp>) にてサンプル音をお聴きいただけます。

■まずやっていただきたいこと

屋内にいる場合

- ドアや窓を全部閉めましょう。
- ガス、水道、換気扇を止めましょう。
- ドア、壁、窓ガラスから離れて座りましょう。

屋外にいる場合

- 近隣の堅牢な建物や地下街など屋内に避難しましょう。
- 自家用車などを運転している方は、できる限り道路外の場所に車両を止めてください。やむを得ず道路に置いて避難する場合には、道路の左側端に沿ってキーを付けたまま駐車するなど、緊急通行車両の通行の妨げにならないようにしてください。

情報の収集

- 警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾けて、落ち着いて情報収集に努めましょう。
- 避難の準備など、次の行動に備えましょう。

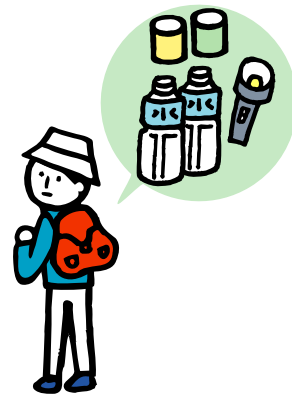
2 避難の指示

市町村からの避難の指示としては、屋内への避難、近隣の避難施設への避難、市町村や県の区域を越えた遠方への避難などが考えられます。

みなさんの安全を守るため、状況に応じて指示が出されますので、市町村からの避難の指示が出された場合には、指示に従って落ち着いて行動しましょう。

避難の指示に基づき、自宅から避難施設へ避難する場合には、以下のことに気をつけましょう。

- ガスの元栓を閉め、電気製品のコンセントを抜いておきましょう。
- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持ち出し品を持参しましょう。(非常持ち出し品については、21ページを参照してください。)
- パスポートや運転免許証など、身元がわかるものを携行しましょう。
- 家の戸締まりをしましょう。
- 近所の人に声をかけましょう。
- 避難の経路や手段などについて、市町村職員からの指示に従い、落ち着いて避難しましょう。



3 住民の避難誘導

避難施設への避難誘導については、市町村職員や消防職員、消防団員が中心となって行います。避難の経路や手段などについて、市町村職員や消防職員、消防団員の指示に従い、落ち着いて避難しましょう。

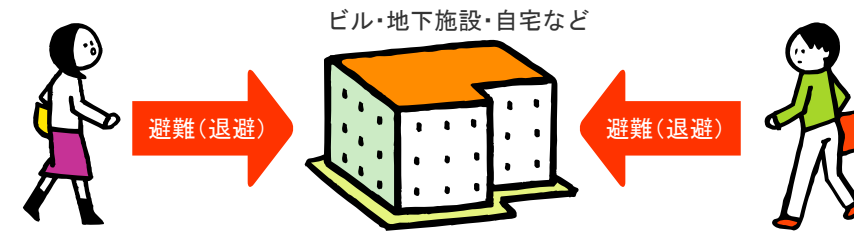


4 避難方法の基本的考え方

(※地理的条件や地域の交通事情などにより、別の避難の方法を指示される場合もあります。)

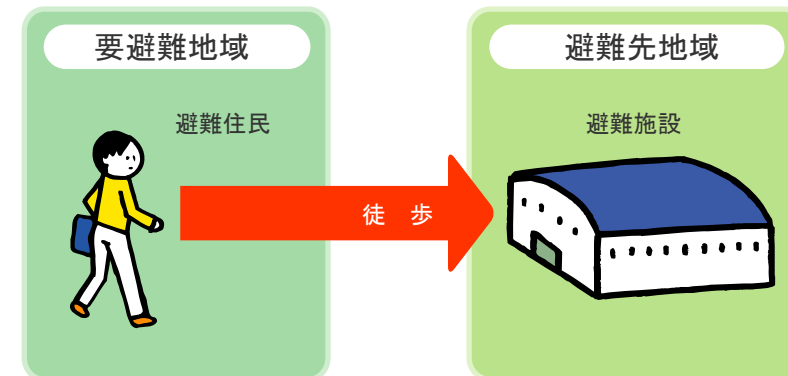
■ 屋内への避難(退避)

- 弾道ミサイル攻撃や、ゲリラ・特殊部隊による攻撃、航空攻撃においては、近隣のコンクリート造りなどの堅牢な建築物、地下街などの地下施設などに一時避難(退避)します。
- その後、事態の推移、被害の状況により、さらに安全な地域に避難します。
- また、核兵器、生物兵器、化学兵器を使用した攻撃においても、一時避難が重要な場合があります。



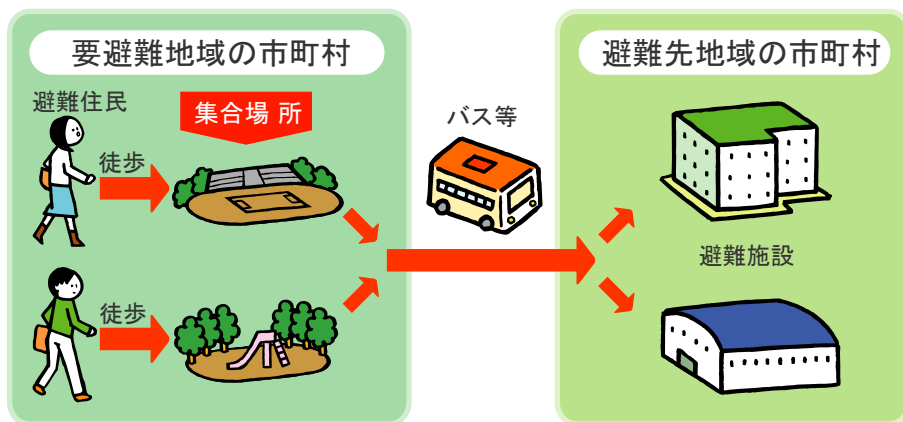
■ 同一市町村内での避難

- 渋滞などの混乱を回避するため、避難施設まで、原則として徒歩などにより移動します。



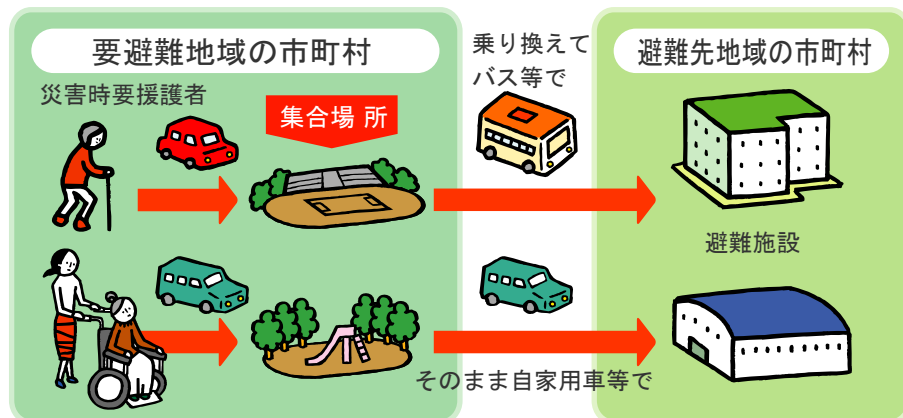
■市町村の区域を越える避難

- あらかじめ指定された集合場所まで、渋滞などの混乱を回避するため、原則として徒歩などにより移動します。
- その後、避難先地域の避難施設まで、バスなどにより移動します。



■災害時要援護者(高齢者、障害者など)の避難

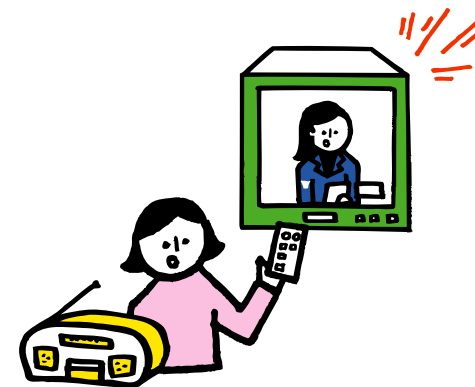
- まず、集合場所に自家用車などにより移動し、次に、事前に把握している災害時要援護者の状況に応じて、以下のいずれかの方法により、避難施設に移動します。



3. 突発的な事態が発生した時

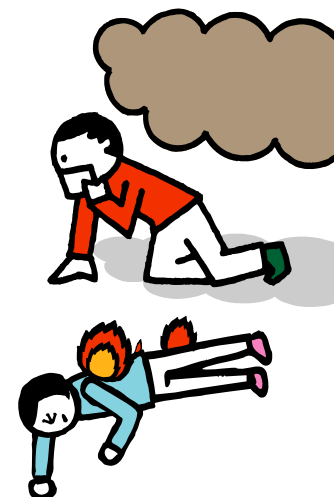
みなさんの身の回りで急な爆発が起こった場合は、以下のことに気をつけましょう。

- とっさに姿勢を低くし、身を守りましょう。
- 周囲で物が落下している場合には、落下が止まるまで、頑丈なテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- その後、爆発が起こった建物などからできる限り速やかに離れましょう。
- 警察や消防の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。
- テレビやラジオなどを通じて、行政機関からの情報収集に努めましょう。



1 火災が発生した場合

- できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- 口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- 体に火がついた場合、水や消火器により火を消しましょう。これらが無い場合は、決して走ったりせずに、手をつけて地面に転がりましょう。



2 ガレキに閉じこめられた場合

- 明るくするために、ライターなどにより火をつけないようにしましょう。空気中の粉じんや漏れたガスに引火して、爆発を起こす恐れがあります。
- 動き回って粉じんをかき立てないようにしましょう。口や鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- 自分の居場所を周りに知らせるために、配管などを叩いて音で知らせましょう。粉じんなどを吸い込む可能性があるため、大声を上げるのは最後の手段にしましょう。

3 けが人などが出た場合

武力攻撃や大規模テロなどが発生すると、普段のように救急車がかけつけられないことも考えられます。けがをしてしまった場合、あるいは自分は無事でも家族や周りの人がけがをしている場合や応急措置が必要な場合に備えて、知識を身につけておきましょう。

■切り傷などにより出血している場合

- 出血している箇所を清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血しましょう。
- 骨折がないことを確認した上で、傷口は心臓よりも高くしましょう。
- 包帯を巻くときは患部を清潔に保ちましょう。
- 感染防止のため、じかに血液に触れないように、ビニール・ゴム手袋やスーパーの袋などを利用しましょう。



■火傷をしている場合

- 流水で患部を冷やしてください。
- 水ぶくれは破らないよう注意しましょう。
- 消毒ガーゼかきれいな布を当て包帯をしましょう。

■骨折している場合

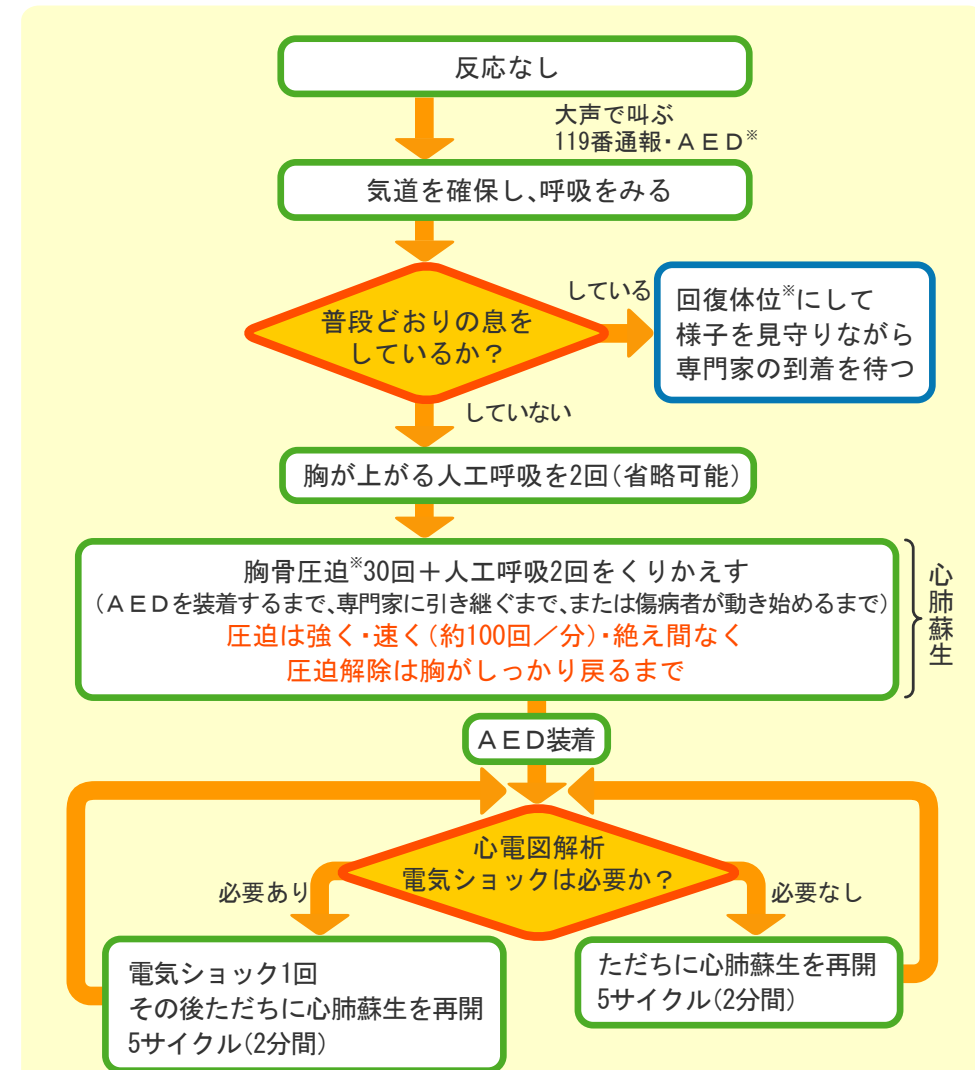
- 出血している場合はその手当てをしましょう。
- 負傷した箇所はあまり動かさないようにしましょう。
- 氷あるいは冷湿布などを利用して腫れや痛みをやわらげてください。
- 可能であれば、副木を当て、骨折部分の上下を固定します。
- さらに腕の場合は三角巾などで固定します。
※副木は、棒や板、傘や段ボールなどで代用できます。

■かゆみや発疹など皮膚に異常が見られる場合

- 汚染された衣類は、汚染物質が接触しないように切り裂くなどにより脱ぎ、ビニール袋に入れ密閉しましょう。
- 水と石けんで手、顔、体を洗いましょう。

■人が倒れている場合

倒れている人を見つけたら、周囲の安全を確認し、安全であると判断される場合は、以下のフローチャートの手順に従って、手当を行いましょう。呼吸や循環のサインが見られない場合、速やかな心肺蘇生が生命を救うことにつながります。



*AED……自動体外式除細動器(Automated External Defibrillator)を指す。
心電図解析及び電気ショックの必要性の判断は、AEDが行う。
*回復体位……うつぶせ気味の横向きに寝かせ、頭を後ろにそらせて、上になったひざを軽く曲げからだを安定させた状態。
*胸骨圧迫……心臓マッサージを指す。
平成18年8月15日消防救第110号「救急業務高度化推進検討会報告書」及び日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修・日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会編著・へるす出版発行「改訂3版 救急蘇生法の指針 市民用」より転記。

4. 核物質、生物剤、化学剤による攻撃について

1 それぞれの特徴

■核物質

- 核兵器を用いた攻撃による被害については、当初は主に核爆発に伴う熱線、爆風などによる物質の燃焼、建物の破壊、放射能汚染などの被害が生じ、その後は放射性降下物(放射能をもった灰)が拡散、降下することにより放射線障害などの被害が生じます。
- 放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾(ダーティボム)の爆発による被害は、核爆発ほど大きな被害は生じませんが、爆薬による被害と放射能による被害をもたらします。



■生物剤

- 生物剤は、人や動物を殺傷したり植物を枯らすことなどを目的とした細菌やウイルスなどの微生物及び細菌や動植物が作り出す毒素のことをいい、人に知られることなく散布することが可能です。
- 触れたり、口に入れたり、吸引することで人体に悪影響を及ぼすことから、飲食物及び日用品などへの混入、人体への直接注入、爆発物や噴霧器を使用した散布などが考えられます。
- 発症するまでの潜伏期間[※]に、感染した人々が移動し、後に生物剤が散布されたと判明した場合には、既に広域的に被害が発生している可能性があります。
- ヒトを媒体とする天然痘などの生物剤による攻撃が行われた場合には、二次感染により被害が拡大することが考えられます。

■化学剤

- 化学剤は、その特性により、神経剤[※]、びらん剤[※]、血液剤[※]、窒息剤[※]などに分類されています。一般に地形や気象などの影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリンなどの神経剤は下を這うように広がります。
- 特有においがあるもの、無臭のものなど、その性質は化学剤の種類によって異なります。人から人への感染こそありませんが、比較的早く、目の充血、咳込み、かゆみなどの症状が現れます。
- 触れたり、口に入れたり、吸引することで人体に悪影響を及ぼすことから、生物剤と同様に、飲食物及び日用品などへの混入、人体への直接注入、爆発物や噴霧器を使用した散布などが考えられます。

[※]潜伏期間 …… 病原体に感染してから、体に症状が出るまでの期間

[※]神経剤 …… 麻痺など多様な神経症状を引き起こす化学物質

[※]びらん剤 …… 皮膚に発赤や水疱を引き起こす化学物質

[※]血液剤 …… シアン化水素(青酸)、塩化シアンをいう。血液によって運ばれ呼吸中枢に作用することから、こう呼ばれる。

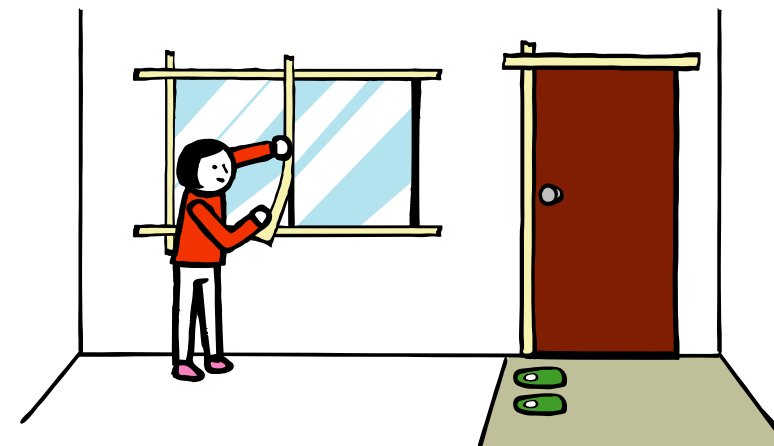
[※]窒息剤 …… 肺水腫など肺に作用し、窒息を起こすことを特徴とする化学物質

2 共通する留意点

- 口と鼻をハンカチで覆いながら、その場から直ちに離れ、外気からの密閉性の高い屋内の部屋または風上の高台など、汚染のおそれのない安全な地域に避難しましょう。



- 屋外から屋内に戻ってきた場合は、汚染物を身体から取り除くため、衣類を脱いでビニール袋や容器に入れ密閉しましょう。その後、石けんで手、顔、体をよく洗いましょう。
- 屋内では、窓閉め・目張りにより室内を密閉し、できるだけ窓のない中央の部屋に移動しましょう。



- 安全が確認できるまでは、汚染された疑いのある水や食物の摂取は避けましょう。
- 被ばくや汚染のおそれがあるため、行政機関の指示などにしたがひ、医師の診断を受けましょう。

3 それぞれの留意点

■核物質の場合

- 閃光や火球が発生した場合には、失明するおそれがあるので見ないでください。
- すばやく遮蔽物の陰に身を隠しましょう。近隣に建物があればその中へ避難しましょう。地下施設やコンクリート造りの建物であればより安全です。
- 上着を頭からかぶり、口と鼻をハンカチで覆うなどにより、皮膚の露出をなるべく少なくしながら、爆発地点からなるべく遠く離れましょう。その際、風下を避けて風向きとなるべく垂直方向に避難しましょう。



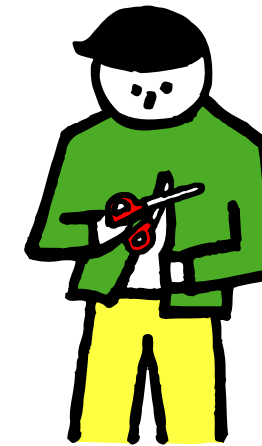
- 屋内に地下施設があれば地下へ避難しましょう。
- 放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾(ダーティボム)の爆発の場合、爆発が起こった建物などからできる限り速やかに離れましょう。
- 爆発において特有の特徴が無く、放射性物質の存在が判明するまでに時間がかかることなどから、たとえ外傷がない場合でも、行政機関の指示などにしたがって医師の診断を受けましょう。

■生物剤の場合

- 身近に感染した可能性のある人がいる際には、その人が使用した家庭用品などに触れないようにし、頻繁に石けんで手を洗いましょう。感染した可能性のある人も自らマスクをすることが大切です。
- 米国で発生した炭そ菌事件のように、不審な郵便物が送られてきた場合には、郵便物を振ったり、匂いをかいだり、中身を開けたりせずに、可能であればビニール袋で包み、すぐに警察などに通報しましょう。
- もし開けてしまって不審な物質がこぼれ出たような場合には、掃除はせずに不審な物質を直ちに何かで覆い、その部屋を離れて汚染された衣服をできるだけ早く脱ぎ、ビニール袋に入れ密閉しましょう。その後、手を水と石けんで洗い流してすぐに警察へ通報しましょう。

■化学剤の場合

- 2階建て以上の建物であれば、なるべく上の階へ避難しましょう。
- 汚染された服、腕時計、コンタクトレンズなどは速やかに処分する必要がありますが、汚染された衣服をうかつに脱ぐと、露出している皮膚に衣服の汚染された部分が触れるおそれがあります。特に頭からかぶる服を着ている場合には、はさみを使用して切り裂いてから、ビニール袋に入れ密閉しましょう。その後、水と石けんで手、顔、体をよく洗いましょう。



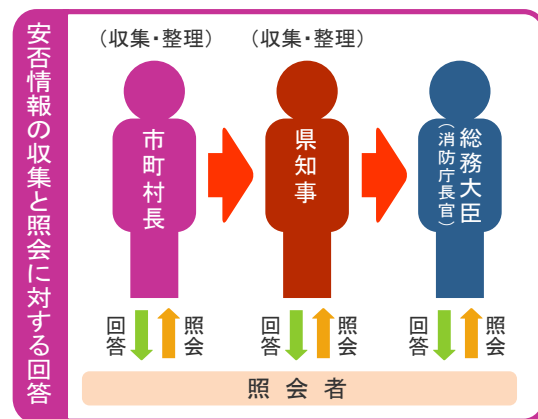
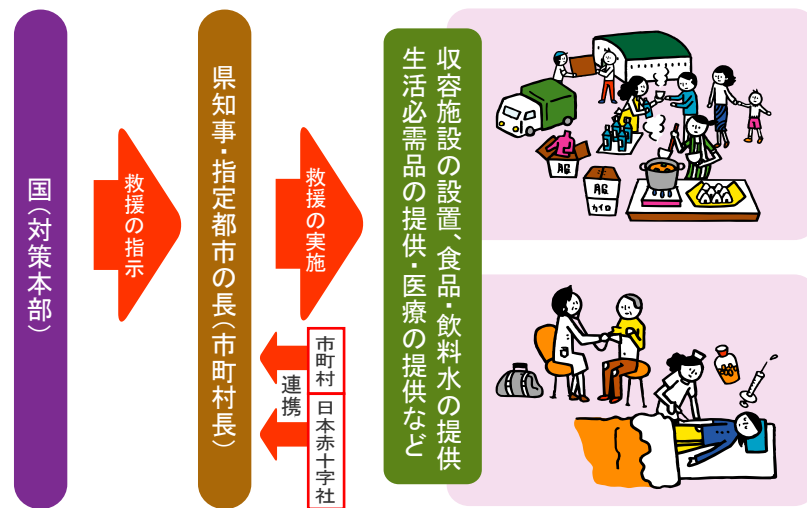
- 化学剤傷病者への治療は一刻を争います。あやしいと感じたらすぐに周囲に知らせる、速やかに警察や消防に通報するといった迅速な対応をとった方が、その後の対処も早くなり、救命率の向上につながります。

5. 救援及び被害の最小化について

1 救援

避難後のみなさんの生活を救援するために、県は、市町村や日本赤十字社と連携しながら救援に関する措置を行います。

主な救援の措置として、避難場所や食品、医療品などの提供を行ったり、また行方不明になったり、離ればなれになってしまった人たちのために安否情報の収集や提供を行います。



2 被害の最小化

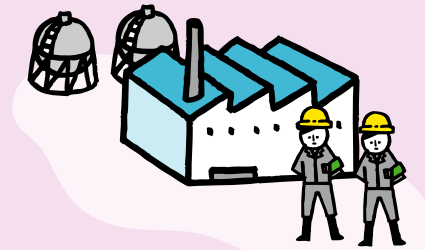
武力攻撃に伴う被害をできるだけ小さくするために、国、県、市町村が協力をして、必要な措置を行います。

国・県・市町村が協力して対処

生活関連等施設(石油コンビナート、ダム、鉄道施設など)の安全の確保、警備の強化、立入制限などを行います。



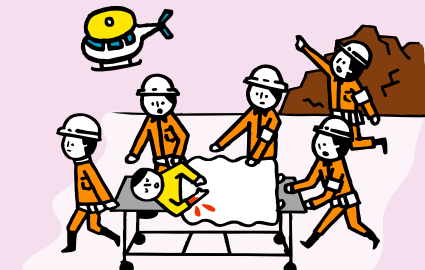
危険物、毒物、劇物、高圧ガスなどの取扱所での製造等の禁止・制限などを行います。



警戒区域の設定を行います。区域内への立入制限及び禁止、退去命令を行います。



消火、救急及び救助の活動を行います。



6. 武力攻撃事態、緊急対処事態ってなに？

1 武力攻撃事態の特徴

武力攻撃事態の想定は、武力攻撃の手段、その規模の大小、攻撃パターンなどにより異なることから、どのようなものになるかについて一概にはいえませんが、国民の保護に関する基本指針においては、4つの類型を想定し、国民の保護のための措置の実施にあたって留意すべき事項を明らかにしています。

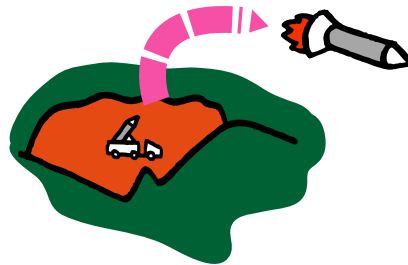
■ゲリラ、特殊部隊による攻撃

- 突発的に被害が発生することも考えられます。
- 被害は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的ですが、攻撃目標となる施設(石油コンビナートなどの生活関連等施設)の種類によっては、被害が拡大するおそれがあります。
- 核・生物・化学兵器や、放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾(ダーティボム)が使用されることも想定されます。



■弾道ミサイルによる攻撃

- 発射前に着弾地点を特定することが極めて困難であり、短時間での着弾が予想されます。
- 弾頭の種類(通常弾頭であるのか、核・生物・化学弾頭であるのか)を着弾前に特定するのが困難であり、弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく変わります。



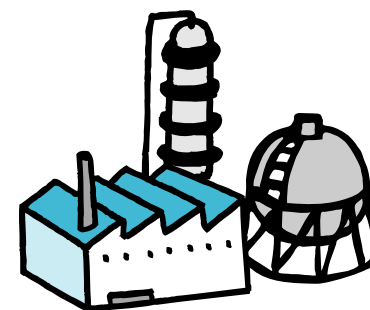
※このほかに、航空機による攻撃や、着上陸侵攻が想定されています。

2 緊急対処事態(大規模テロ)の特徴

緊急対処事態とは、武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて、多数の人を殺傷する行為が発生した事態、またはこの行為が発生する明白な危険が切迫していると認められる事態を指し、いわゆる大規模テロなどがこれに該当します。

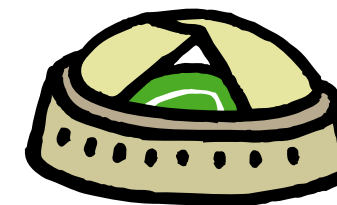
緊急対処事態は、攻撃の対象となる施設や攻撃の手段の種類によって、以下に示されるような事態例が考えられています。

■危険性を内在する物質を有する施設などに対する攻撃が行われる事態



例)石油コンビナート、可燃性ガス貯蔵施設などの爆破

■多数の人が集合する施設及び大量輸送機関などに対する攻撃が行われる事態



例)スタジアムなどの大規模集客施設、ターミナル駅などの爆破

■多数の人を殺傷する特性を有する物質などによる攻撃が行われる事態



例)生物剤(炭そ菌など)、化学剤(サリンなど)の散布

■破壊の手段として交通機関を用いた攻撃などが行われる事態



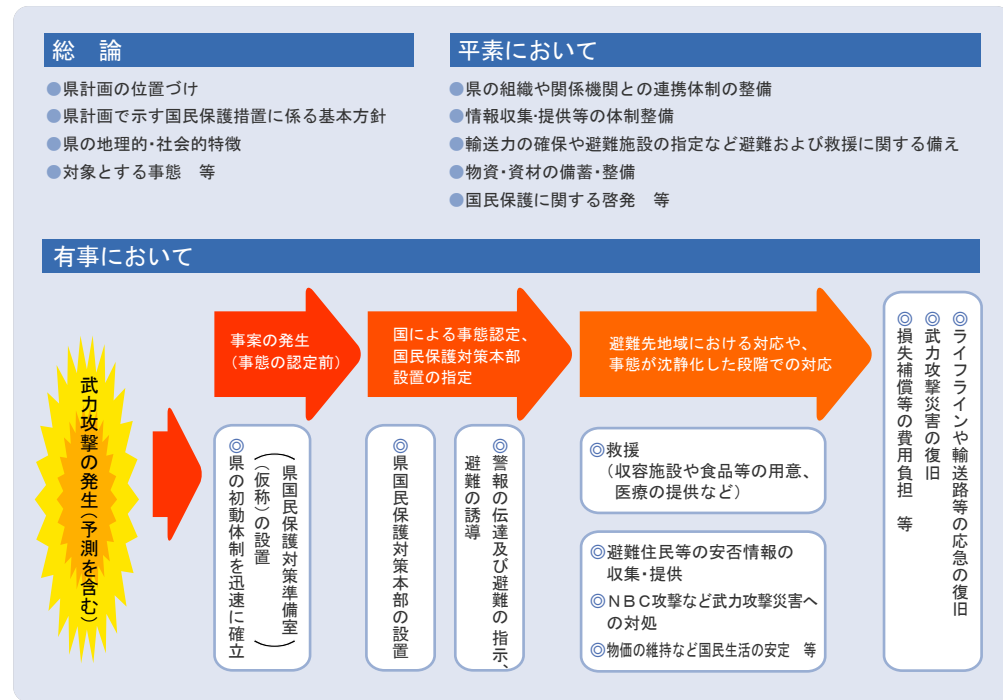
例)航空機などによる自爆テロ

7. 日頃からの備えについて

1 福岡県国民保護計画

本県では、「福岡県国民保護計画」を作成し、平素・有事のそれぞれにおいて、県が行う国民の保護のための措置について記述しています。

福岡県国民保護計画のポイントとして、平素においては、指定都市との連携や「ふくおかコミュニティ無線」などの通信の確保、有事においては、事態認定前の初動体制の確保や大都市における避難・救援に係る留意事項、避難方法の基本的考え方を記述しています。



※緊急対処事態においては、武力攻撃事態への対応に準拠

詳しくは、福岡県の国民保護ホームページに掲載していますのでご覧ください。
<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/kokuminhogo/toppage.htm>

なお、市町村においても、それぞれ「市町村国民保護計画」を作成しています。

2 日頃からの備え

地震などの災害に対する日頃からの備えとして、避難するときに持ち出す非常持ち出し品や、数日のあいだ自足できるようにするための備蓄品が各行政機関により紹介されています。

これらの備えは、武力攻撃や大規模テロなどが発生し、避難する場合においても大いに役立ちますので、避難に備えて、ご家庭で準備しましょう。

非常持ち出し品

携帯用飲料水
 食品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
 貴重品(預金通帳、印鑑、現金など)
 パスポートや運転免許証

緊急用品

ヘルメット、防災ずきん
 軍手(厚手の手袋)
 懐中電灯
 衣類(セーター、ジャンパー類)
 下着
 毛布
 携帯ラジオ・予備電池
 マッチ・ろうそく(水にぬれないようにビニールでくるむ)
 使い捨てカイロ
 ウエットティッシュ
 筆記用具(ノート、えんぴつ)

小さな子どもがいる家庭は

- ミルク
- 紙おむつ
- ほ乳びん

三角きん 包帯(4号・6号が便利)
 消毒ガーゼ きれいなタオル
 ばんそうこう (大・小)
 体温計
 はさみ・ピンセット
 キズロ用の消毒液 (かぜ薬、胃腸薬、痛みどめなど)
 常備薬
 安全ピン

さらに、新聞紙や大きなゴミ袋は防寒や防水に役立ちますので、備えておくとよいでしょう。

数日間を自足できるようにするための備蓄品(3日分が目安)

普段使っている物と同じ物を用意しておくとう便利です。

飲料水 9リットル(3リットル×3日分)
 ご飯(アルファ米[※])4~5食分
 ビスケット 1~2箱
 板チョコ 2~3枚
 缶詰 2~3缶
 下着 2~3組
 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど

※アルファ米…一度炊いた米を乾燥したもので、お湯や水を注ぐだけで食べられ、非常食としても活用できる。

このほかに、連絡手段のひとつとして携帯電話を持っておきましょう。